

【取組内容①】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるICTの活用

**BEFORE**

【生徒】

- 自分の運動を振り返る際、文章や記憶を頼りにしていた。そのため、授業を通して成長した点を実感しづらかった。
- 教師主導の授業になることが多く、学びを振り返る際に、生徒が自分で課題を見つたり、学びを実感したりする姿には至っていなかった。

姿の  
変容



**AFTER**

【生徒】

- 自分の運動を動画で記録し、自分の動きを繰り返し見て分析することを通して、課題や解決方法を見出すことができる。また、以前の自分の運動と比べ成長を自覚できる。
- 蓄積した学びの過程を振り返り、自分が学びやすい方法を獲得できるようになった。

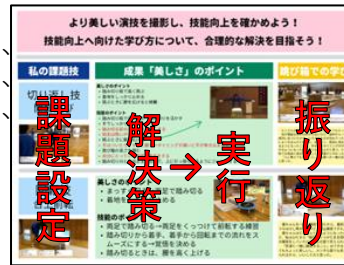
①動画での学習の様子撮影

自身の運動の様子を撮影することで、これまで学んだ知識や見本の映像と比較し、自分の課題を明確にすることができる。



②学びの記録をクラウド上で整理

学習の流れをフレーム化することで、自分で課題を設定し、解決策を考え実行し、得た成果を振り返ることができる。



③蓄積された学習記録をもとにした学び方の振り返り

記録された学びをもとに、よりよい学び方について考えることができる。

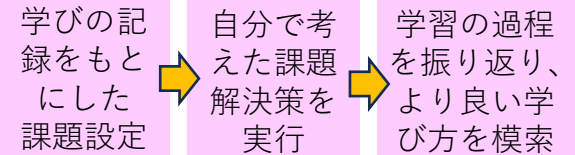


〇〇と一緒に練習できたから、最初のうちは少し怖かったけど、沢山練習できた。〇〇はどんどんできるようになったけど、私はひたすら「脚をくっつけたまま前転」の練習をしていたけど、心の面では変わった。「友達と一緒に練習すること」はできなくてもちょっと楽しいし、メンタル面でも変えられるから、いいことだと思った。

成果

\* ( ) 内は手立てとの関わり

- ・生徒が動画を撮影し、自身の運動を分析することを通して、課題を明確に設定できるようになった。(①)
- ・生徒が動画を撮影することにより、学習を通して成長した点を自覚しやすくなった。(①②)
- ・蓄積した学習記録を用いて、自己の学びを振り返ることによって、生徒自身で学びを広げ深めることができる。(③)



学ぶ過程を振り返る

課題

- ・教科における振り返りの指導方法を蓄積し、よりよい指導方法を明らかにする必要がある。(③)

方策

- ・各教科に合わせた、学びの過程の記録方法を工夫することで、それをもとにした振り返りを蓄積し、よりよい指導方法を明らかにする。(③)